

ぼくのわたしのすてきなかぞく

-かぞくニコニコだいさくせん-

1年生活 9月～10月 18Q (6時間)
 附属新潟小学校 教諭 三星 雄大

1 目指す姿

- 家族に親しみをもちながら、気付きの質を高める子ども
 「お母さんと一緒にお皿洗いをしましたね。今は、大きな鍋やガラスのコップも洗うことができます。お母さんはいつも頑張っています。ありがとう。私はこれから自分にできる家のお仕事を自分でやります」などと手紙に記述する姿
- (1) 「**中核的な知識や技能**」: 家族に対する気付きの質の高まり (自分が身近な人に支えられていることに気付き、感謝の気持ちをもち、自分にできることを考えること)
- (2) 「**学びをつなぐ力**」: 比較するすべを用いて、手伝いをする自分と家の仕事をする家族を比べ、違いに気付く力

2 単元の計画

	【学習活動】☆つなぐ力	【働き掛け】	Q
一 次	<ul style="list-style-type: none"> ○ 夏休みにしたお手伝いを発表する。 ○ 家族が家庭の中でしている仕事は何かを考え、発表する。 ○ 家庭学習で家族がしている仕事を見たり聞いたりしてワークシートにまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 夏休みにしたお手伝いを発表させる。 ◆ 誰とどのようなことをしたのかが分かるように分類して黒板にまとめる。 ※ 分類の仕方は、「料理に関すること」「掃除に関すること」「その他」である。 ◆ 自分がしたお手伝いの他にも、家族がしているお仕事について知っていることはないかを問う。 ◆ 「お仕事調べ隊」として、家族の仕事を調べてこようと投げ掛け、家で調べさせる。 	6 Q 2 時間 + 家庭 学習
二 次	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【既存事項】 手伝いをする自分</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 家族がしている仕事の中身を発表する。 ○ 家族はどのようなことを考えて仕事をしているのかを考える。 ○ 誰とどのような仕事をしたいのかをワークシートに記述する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; background-color: #ffffcc;"> <p>○ お母さんと一緒に仕事をしたいです。お母さんは仕事をいろいろしていて大変そうだからです。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「かぞくニコニコだいさくせん」に取り組む。 ※ 各家庭での体験となる。保護者には写真の提供をしていただけるように協力をお願いしておく。 ※ 予想される仕事は次の通りである。 料理関係：米とぎ・包丁で材料を切る・食材を洗う・食器を洗う・炒めるなど・食材の買い物 掃除関係：部屋掃除・風呂掃除・玄関掃除 ○ 一緒にした仕事について「したこと・思ったこと・分かったこと・聞 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ どのようなことを考えながら仕事をしているかを考えさせ、誰とどのような仕事をしたいのかをワークシートに記述させる。 <p style="text-align: right;">【働き掛け1】</p> <p>※ 各家庭に活動の趣旨や協力をお願いをしておく。家族が忙しい場合もあるため、働き掛け1に入る前に、学習の趣旨を保護者に説明し、理解を得ておく。伝えた内容は次の4点である。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 旅行や家の用事等で外出し、家事ができない場合以外は、毎日取り組ませてほしいということ ② 『まねっこ活動』のために特別に仕事を設けるのではなく、日常的にしていることを体験させてほしいということ ③ 体験のときに、頑張ったことやよくできたことを褒めてほしいということ ④ 活動は全部で三つの期間に分けていること。 <p>◆ 「かぞくニコニコだいさくせん」に取り組ませる。 【働き掛け2-①】</p> <p>※ 働き掛け2-①は、各家庭での体験となる。そのため、子ども一人一人がどのような行動をしたのか、発言をしたのかが見えない。したがって、通過の判断は、働き掛け2-②と合わせて行う。 働き掛け2-①では、「かぞくニコニコだいさくせん」を行ったかどうかを、ワークシートの記述から見取る。</p> <p>◆ 「したこと・思ったこと・分かったこと・聞いたこと」の視点を与え、『かぞく</p>	12 Q 4 時間 + 家庭 学習

いたこと」の中から選んで振り返る。

○ 毎日、仕事をして帰ってきてから僕たちのご飯を作ってくれて、食器まで洗っているお母さんってすごいです。

★つなぐ力

○ 『かぞくニコニコだいさくせん日記』にまとめたことを友達に発表する。

○ 初めて料理をしてみました。カレーライスは色々なことをしてからできるのだということが分かりました。作る時は暑くて大変だったけど、お母さんは笑顔でした。

※ グループでの発表は生活班で行うこととする。発表中は、机間指導を行う。

○ 自分と家族との違いについて考える。

○ ぼくは包丁を使うとゆっくりしか切れないけど、おかあさんはトントン速く切ることができる。

★つなぐ力

○ 友達の発言を聞いて、同じ気持ちかどうか考え、同じであれば挙手をする。

○ 家族のことをどのように思っているかを考える。

○ 私は、お母さんにありがとうと思っています。どうしてかという、いつも家族のために仕事をしてくれているからです。これからは、自分にできることをしていきたいです。

○ 家族からの手紙を読む。
○ 家族に手紙をもらって、嬉しい気持ちをもつなどする。
○ 家族に手紙を書く。

○ お母さんと一緒にお皿洗いをしましたね。今は、大きな鍋やガラスのコップも洗うことができます。お母さんはいつも頑張っています。ありがとう。私はこれから自分にできる家のお仕事を自分でやります。

ニコニコだいさくせん日記』に振り返らせる。
【働き掛け2-②】

※ 保護者にあらかじめ伝えておいた期日に振り返りを行う。

1回目：9月14日

2回目：9月18日

3回目：9月30日

◆ 「かぞくニコニコだいさくせん」のことを友達に紹介させる。【働き掛け3-①】

◆ 質問のポイントを1サイクル目に教えておく。ポイントは次の5点。

※ きっかけ・くろう・こつ・よころび・ねがい

◆ 友達を賞賛する言葉を投げ掛けるように伝える。

◆ 「かぞくニコニコだいさくせん」のことを先生に紹介させる。【働き掛け3-②】

◆ 子どもが比較できるように整理してまとめていく。

※ 必要に応じて活動時の写真を掲示したり、実演させながら発表させたりする。

◆ 自分と家族との違いを問う。

◆ 「学びをつなぐ力」を発揮している子どもに、比べて考えたことのよさを価値付ける。

◆ 発言した友達と同じ気持ちの人がいたら挙手をさせ、比べて考えたことのよさを価値付ける。

◆ 家族をどのように思っているかを問う。
【働き掛け4】

※ 各家庭に『まねっこ活動』のときの子どもの様子を褒める手紙を書いてもらえるように頼んでおく。

◆ 手紙をもらった気持ちを問う。

◆ 手紙を書かせる。

【「学びをつなぐ力」の有用性の自覚を促す働き掛け】

◆ 手紙の記述から、「学びをつなぐ力」を発揮している部分に線を引き、価値付ける。

3 内容の関連

[第1学年] 内容(1)
がっこうたんけんたい
-すてきな○○さん-
○中核的な知識や技能
学校で働く人に対する気付きの質の高まり

[第1学年] 内容(2)
ぼくのわたしの
すてきなかぞく
○中核的な知識や技能
家族に対する気付きの質の高まり

[第1学年] 内容(3)
ようこそ!
ふぞくしょうがっこう
○中核的な知識や技能
幼稚園児に対する気付きの質の高まり